

学校運営協議会だより

令和2年10月7日

第3回学校運営協議会より

令和2年9月25日（金）第3回の運営協議会が行われました。
おもな協議内容を紹介します。

1 学校の様子について

(1) 学力・学習状況

(4・5年みえスタディ・チェックの結果と対応について学校側から説明)

- ・国語・算数が高く、理科が低かった。子どもたちのがんばりが見られるものの、言葉での説明や書くことには課題が見られた。
- ・弱みに対する取り組みは全学年で行う。子どもの学習意欲を高めつつ、文章読解力の育成を図りたい。

(意見)

- ・鈴鹿市全体データとの比較も知りたい。
- ・自主学習に関して、「～について学習しよう」など、教師から課題を設定して出すことがあってもよいと思う。

(2) 新型コロナ感染対策・熱中症対策について（学校から口頭説明）

- ① 感染拡大防止：毎日検温を実施している（毎日5人ほど忘れがある）。換気・マスクの着用、手洗い、消毒、密を避ける授業工夫を行っている。
- ② 熱中症対策：エアコンの効果的な活用。こまめな水分補給。ミストシャワーの設置。

(3) 子どもたちのようす

(学校から) 運動会の練習中で、意欲をもって取り組んでいる。場面の切替も少しずつ向上している。

(地域から) 中学生の自転車マナーが悪い。カーブミラーの設置要望は出している。

2 鈴鹿市教育委員会事務局 教育支援課 アドバイザーより

- 学力調査等の実施に際しては，問題冊子と解答用紙が別々になっているなど，ふだんのテストと違って子どもたちは戸惑いやすい。過去出題内容等での練習も必要。
- 意欲ある子どもを育てる上で，学校・家庭・地域全体で取り組んでいくことが大切。